



ちいばすに乗って
赤坂青山を
散策しよう!



赤坂消防署からのお知らせ
熱中症に注意！～暑さ対策をしっかり！～
熱中症を防ぐために Keep Yourself Safe

●早めに、こまめに水分補給！
●帽子や日傘で日差し対策！
●部屋の換気！
●異常な高体温となっている。

熱中症に対する応急手法
●風通しのよい日陰や、冷房の効いている場所に移動しましょう。
●衣服をゆるめて、体を楽にしましょう。
●冷たい水で冷やしたタオルを脇の下や足の付け根におき、体を冷やしましょう。
●自分で飲めるようなら、スポーツドリンクや薄い食塩水(およそ500mlに1g程度の割合)を飲みましょう。ただし、意識障害などがあり、自力で飲めない場合は無理に水分補給をする必要はありません。
●意識がもうろうとしたり、高熱となった場合などは、早めに医療機関で受診しましょう。

赤坂警察署からのお知らせ
店舗を狙った盗難被害は増えています！
閉店後の店舗を狙い、出入り口のガラスを割るなどして侵入して、店内の現金を盗んでいく盗難被害が発生しています。

被害の特徴
①被害にあった店舗の特徴
②犯行の特徴

被害にあわないために
●閉店後の店内に置く現金や商品をなるべく少なくする(1カ所にまとめて置かない)
●外から見える場所に防犯器具を設置する(防犯カメラ・センサーライトなど)
●カギの本数・所有者など管理体制を確実にする(外出入口の鍵をポストに隠さない)

赤坂・青山 地域の活動 vol.3

赤坂地区委員会 副会長 西尾 健 さん
地区委員会とは、青少年をめぐる社会環境の浄化や健全育成及び非行防止の対策を、地域社会の力を結集して進めていく自主的な地区組織活動団体です。赤坂地区委員会では、田植えやもちつき、いも煮会などさまざまな行事を通じて、赤坂地区の青少年育成のために、日々活動しています。

いつからこの仕事に関わり始め、また、関わったきっかけは何ですか？
平成13年度から携わっています。きっかけは、赤坂小学校のPTA会長に就任したことです。元々、ボーイスカウトの活動もしており、アウトドアや子どもと関わる活動が好きだったので、赤坂地区委員会の一員として活動に参加しています。

赤坂地区委員会の活動の中で、特に力を入れている活動を紹介してください
赤坂地区委員会の活動では、田植えやもちつき、今年で25回目を迎えるいも煮会など多くの行事がありますが、特に「みなとキャンプ村」と、スキー教室に力を入れています。

「みなとキャンプ村」の大変なことは何ですか？
うれしいことでもあります。赤坂地区委員会に参加したい子どもが徐々に増えています。今までは、全員の子どもが参加できていたのですが、キャンプ場は人数に制限があります。今後、更に参加したい子どもが増えると、参加できない子どもが出てくる可能性があるため、調整するのが大変になります。

「みなとキャンプ村」のやりがいは何ですか？
「みなとキャンプ村」に1回参加した小学生は、とても楽しかったので、次の年も参加したいと言ってくれます。また、中学生になってからも参加したい、さらに、高校生や大学生になって、スタッフとして参加したいと言ってくれます。小学校で初めてキャンプに参加した子どもが、大きくなって参加してくれて、小中学生にサポートしている姿を見ると、次の世代へと着実に受け継がれているのを感じ、やりがいにつながります。

これからの目標は何ですか？
行事を実施するには、多くの方の協力が必要になります。「みなとキャンプ村」の場合には、子どもをサポートする高校生や大学生のスタッフは育っていますが、裏方の仕事をする保護者の人手が足りません。赤坂地区委員会の行事は、子ども中心の活動が多いですが、保護者も子どもと一緒に楽しめるような「みなとキャンプ村」の運営を目指していきたいです。

外国人から見た赤坂・青山 第8回

アメリカ合衆国南部のルイジアナ大学ラファイエット校の工業デザイン学科を卒業後、デザイナーとして勤務。2013年に来日し、現在デザイナーの勉強をしながら表参道で英語教師をしているレミエール・パリンさん(28歳)にお話をうかがいました。

Q1 なぜ海外に住もうとお考えになったのですか？
「働き始めて2年経った頃、もっと国際的な環境で文化や生活について学びたくなり、今後の仕事や自分自身のためにも外国に行くことを決意して、日本に来ました。」

Q2 なぜ日本を選んだのですか？
「日本は他の国の文化より素晴らしい所があると思います。僕は大学で消費者のための商品開発の勉強をしました。商品開発の考え方は日本の住宅や交通機関にも通じる所があります。小さな国土で人々をどのように移動させるか、どのように生活を守りお互いに共存しあうか、あらゆる工夫や解決方法がなされていると思います。自動車だけでなく、電車やその他の交通機関も充実しています。日本は、日々の生活における様々な問題の解決方法が革新的な国だと感じています。」

Q3 赤坂、青山をどう感じますか？
「赤坂と青山は好きです。赤坂から表参道まで歩くのも好きです。ここは、エレガントで洗練された、面白い個性のある街だと思います。表参道エリアに向かって歩くと、街が徐々に変わっていくのがわかります。世界的なブランド店は、表参道というイメージを越えてまで目立つことなく、地元のレストランや商店と共存しています。全てのお店がお互いに支え合っている高級感あふれるユニークな街だと思います。ここは、多くの外国人に孤独を感じさせない異文化の雰囲気があります。例えば、近所の回転寿司店に行った時、日本語が喋れない私でも心地よく過ごせるように、スタッフが気を遣ってくれました。サービスに関しては、赤坂や青山以上のエリアはないのではと感じるほどです。」

Q4 このエリアでどこが一番好きですか？
「青山にあるヨーロッパ風のショールームが好きです。デザイナーの勉強があるので、ショールームの外から車をスケッチすることが趣味です。周囲の人々に変に思われているかもしれませんが(笑)、この記事を読んでもらったら多少、理解してもらえませんかね。」

Q5 将来の目標を教えてください。
「自分が興味のある分野で働けるようになることです。そのためにも、日本語をもっと勉強したいです。コミュニケーションは、言語面でも文化的でも不可欠なものです。日本でのデザイン業界のコネクションをもっと広げ、彼らからデザインを学びたいです。実はドイツにも興味があります。そして、将来はデザインの仕事でドイツでも習得したいと考えています。日本と同様に、ヨーロッパにおいても交通機関、自動車などのデザインがとても独創的で大規模です。自分の愛することを続け、仕事として成功させることが誰もが望む目標だと思います。」

青山霊園眺望 ~人と歴史~

第20回 六代目 中村歌右衛門(本名 河村藤雄 1917~2001年) 1種イ号10側7番

昭和を代表する日本伝統芸能歌舞伎俳優・女形 出雲の阿国から約400年、日本の無形文化遺産となり、敗戦後の未曾有の混乱の中から、幾多の困難を乗り越えて立ち上がったもののひとつに、歌舞伎があります。激動の昭和の時代、父の五代目に続き、女形の頂点に君臨したが、六代目中村歌右衛門でした。

努力の末の襲名
五代目中村歌右衛門の次男として生まれ、母方の河村家で育てられた藤雄は、生まれながらにして左脚が不自由で、生涯このハンディを背負いながらも、生来の気丈さと筆舌に尽くしがたい努力を重宝に舞台上に立ち続けました。初舞台は5歳のとき、三代目中村児太郎として「真田三代記」に出演し、16歳で六代目福助を、24歳で六代目中村芝蔵を、そして34歳で六代目歌右衛門を襲名することになります。

当たり役こそが「自分の体にある役」
歌右衛門の当たり役(評判を取った役)で、1000回以上演じた「京鹿子娘道成寺」の白拍子花子については、「女形の踊りの中の王様」と語り、「ありとあらゆる女性の持っている気持を踊ること」との言葉どおり、独特の秀逸な演技力で観客を魅了しました。また歌右衛門にとって当たり役として「自分の体にある役」、つまり演じやすい役であり、このようにして体現された女性以上に女性らしく美しい立ち回りには、多くの観客を虜にしてきました。当たり役として知られる、「籠釣瓶花街道酔醒」の兵庫屋「しづ」についても、「本朝[四季]」の八重垣垣についても、彼はその役を徹底的に分析し、それを体現できる才能の持ち主でありながら、その努力は執念とさえ思われるほどでした。

日本から世界の歌舞伎へ
演技を極めるだけでなく、伝統芸能の歌舞伎も世の中の変化に応じて、昔のいいものを踏襲しながらも、新しい風を吹き込んでいく努力も惜しみませんでした。歌右衛門は、アメリカ、ヨーロッパをはじめ、数多くの国から招聘され、歌舞伎の魅力を世界に広げていき、歌舞伎は世界の演劇として認知されていきました。その後、重要無形文化財保持者(人間国宝)、文化功労者に選定され、文化勲章や高松宮殿下記念世界文化賞など多数の受賞、そして伝統歌舞伎保存会の会長、国際アメリカン協会会員など沢山の役職を務め、歌舞伎に生涯を捧げました。

歌右衛門は、自身の歌舞伎人生について「たくしはねえ、女形一本でできたんです。まあ、つづしがきかないだけけれど、それは今になってみれば幸せだった。ひたすら歌舞伎の中で生きたいと、そればかり思ってた。今日まで来たの。舞台上にプラスになることなら、他から何を云われよう何でもやりました。それしかないよ」と語っています。

参考文獻:
・「歌右衛門の六十年」中村歌右衛門・山崎共著(岩波新書)
・「歌右衛門伝説」渡辺保著(新潮社)
・「私の出会えた名優たち」山崎静夫著(演劇出版社)

ワークショップなどが行われています。このパビリオンは、「建築界のノーベル賞」と呼ばれるプリツカー賞を受賞した著名な建築家の坂茂氏が設計したものです。

取材当日は、午前5時から開催されたサッカーのブラジル戦が終わった後に、ブラジルの朝食がふるまわれ、一般の参加者も無料で楽しむことができました。また昼間のイベントでは、ブラジルで日常的に食べられている、ボン・デ・ケイジと呼ばれる丸いチーズパン、ケーキ、ブラジルコーヒーやジュースも提供されていました。ブラジルの雰囲気味わいに、訪れてみてはいかがでしょうか。

- 場所: ブラジル大使館 北青山2-11-12
- 期間: 2014年6月12日(木)から7月18日(金)まで
- 時間: 10:00~17:00(ブラジル戦がある日は、7:00から10:00まで朝食が無料で提供されます)

駐日ブラジル大使館 サッカー2014 パビリオン 北青山のブラジル大使館で開催されている「サッカー2014パビリオン」に参加しました

現在、ワールドカップやオリンピックの開催地として注目を集めているブラジル。北青山二丁目にたたずむブラジル大使館は、日系の建築家として著名なルイ・オタクエ氏によるカラフルで現代的な建築が目まぐるしく見えます。このイベントでは、大使館のエントランスに、紙管と呼ばれる再生紙を利用した巨大なパビリオンが設置され、そこでポスターのミニショー、映画の上映、紙管を使ったモダンなパビリオン

赤坂地区総合支所からのお知らせ

「社会を明るくする運動」 第32回赤坂青山地区パレード開催!

7月と8月は、社会を明るくする運動の強調月間です。毎年、赤坂青山地区では、社会を明るくする運動のひとつとして、パレードを開催しています。

●社会を明るくする運動とは? ●
社会を明るくする運動とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪を犯した人の更生について理解を深め、それぞれ立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。



パレード当日は、地元の小中高等学校をはじめ、日ごろから防犯や非行犯罪の現場に携わるボランティアを含む、多くの団体が丸となって、社会を明るくする運動のPRに努めます。オープニングセレモニーでは、赤坂・青山の学校の子どもたちが催し物を行い、青山一丁目交差点からパレードがスタートし、表参道駅まで青山通り沿いを歩いていきます。

開催日時: 2014年7月13日(日) オープニングセレモニー 13:00~ パレード 15:00~
開催場所: 青山一丁目駅から表参道駅までの青山通り沿い

赤坂青山地区イベントカレンダー

- 7月 浄土寺盆踊り大会 7月24日(木)・25日(金)
- サンサン赤坂・なんでもまつり 7月26日(土)
- 納涼盆踊り大会(善光寺) 7月27日(日)・28日(月)
- 9月 Swing赤坂 9月11日(木)・12日(金)
- 赤坂氷川祭 9月12日(金)~14日(日)
- 乃木神社例祭 9月13日(土)
- 金王八幡宮例祭 9月14日(日)
- 青山熊野神社例大祭 9月26日(金)~28日(日)
- 10月 青山まつり 10月24日(金)~26日(日)

赤坂青山歴史伝承塾からのお知らせ 赤坂・青山地域の戦後から東京オリンピック(昭和39年)頃までの写真をお持ちではありませんか?

赤坂地区総合支所では、この地域ならではの暮らしや体験を、地域の歴史として風化させずに次世代へ伝えていくため、区民参画組織「赤坂青山歴史伝承塾」を開催し、地域の語り部に取材活動を行っています。平成27年3月には、取材した当時の日常生活の様子を掲載した冊子「語り継ぐ赤坂・青山 あの日あの頃(第2弾)」を発行予定です。

募集期間: 7月1日(火)から9月30日(火)まで ●お問い合わせ/協働推進課 地区政策担当 電話 03-5413-7013

赤坂地域情報誌 第28号
編集: 港区赤坂・青山地区タウンミーティング 地域情報の発信・交流分科会
発行: 港区赤坂地区総合支所協働推進課 〒107-8516 港区赤坂4-18-13 電話: 03-5413-7013 FAX: 03-5413-2019 (発行部数 23,000部)

港区からのお知らせ

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金のお知らせ

平成26年1月1日時点で港区に住民票がある人を対象に、「臨時福祉給付金」「子育て世帯臨時特例給付金」の申請書を送付します。7月14日(月)に対象となる方に申請書を送付、15日(火)から申請受付を開始します。

対象者	臨時福祉給付金	子育て世帯臨時特例給付金
対象者	平成26年度分の区民税(均等割)が課税されていない人(区民税が課税されている人の扶養親族等は対象外です)	平成26年1月分の児童手当の受給者で、平成25年の所得が児童手当の所得限度額未満の人(臨時福祉給付金対象者は対象外です)
給付給額	対象者1人につき1万円(高齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金、児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者には、5千円の加算措置があります)	対象児童1人につき1万円

●お問い合わせ/みなとコール 電話 03-5472-3710
担当課/臨時福祉給付金担当・子育て世帯臨時特例給付金担当 電話 03-3578-2844~2846

東京都主税局からのお知らせ 東京都主税局公式ホームページをご利用ください!

主税局の情報が公式ホームページで確認できるようになりました。ぜひご利用ください!



ちいばすに乗って 赤坂青山を 散策しよう!

ちいばすって何? 100円持って、乗ってみませんか? あなたの知らない街が、景色があるかもしれません。降りてみませんか? きっと新しい発見があります。ゆっくり歩いてみませんか? ちいばすのバス停は、あなたの家の近くにいます。行きたい場所へ、知らない場所へ。ちいばすを覚えてください。

ちいばす おしゃれな 立ち寄りスポット

みゆき通り

青南小学校前から表参道駅間には、ハイブランドのショップが建ち並び、みゆき通りがあります。

赤坂サカス周辺

イベントやコンサートが多数開催される赤坂サカス周辺には、おしゃれなカフェも多く、老若男女が楽しめるエリアです。

表参道～外苑前

雑貨・小物・インテリアショップなどが続く通りです。お店の規模も小さなもので、ウィンドウショッピングも楽しめます。

ちいばすの赤坂・青山ルートは、青山通りを中心に、縦横に走る、まさに都会の真ん中を走る路線です。車窓からの景色は都心に在りながら緑も多く、街並みもおしゃれで、思わず立ち寄りたくなるスポットが数多く点在しています。



岡本太郎記念館

高樹町通り(骨董通り)を1本入った住宅地に、巨大な白像と豊かな緑が広がった場所があります。「太陽の塔」などで有名な、岡本太郎氏の記念館です。元々実家があった場所に戦後建築されたアトリエ兼自宅が、当時に近い状態を保ちつつ開放されています。他の美術館と違い、床に絵具の跡が残るなど、至る所で太郎氏の息づかいを感じることができます。また、美術品を見る楽しみの他に氏の自宅に遊びに来たような感覚が味わえます。南青山では普段見られないような珍しい植物をなるべく自然な状態で育て、庭自体がひとつの作品のように構成されています。建物沿いに裏手に回ると、当時の門扉も見ることができます。

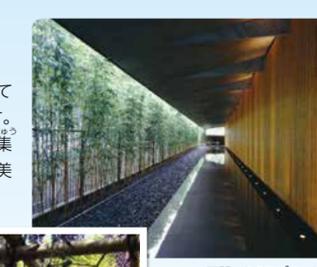
バス 118 / 133-2「南青山六丁目」下車すぐ
10:00～18:00(最終入館17:30) 火曜日(祝日の場合は閉館)・年末年始
※その他休館日についてはホームページをご覧ください
<http://www.taro-okamoto.or.jp>

根津美術館

ちいばす青山ルートの「青南小学校」を降りてすぐ、寺院を思わせる切妻造の屋根が見えます。ここが鉄道王と呼ばれた根津嘉一郎氏が蒐集した日本・東アジアの古美術を展示する根津美術館です。

7月13日(日)までは、「カラフル」と題し中国・明清期の鮮やかな漆器、陶磁器の名品80件が一室に会します。また今秋は新創開館5周年記念特別展「名画を切り、名器を継ぐー美術に見る愛蔵のかたち」と題し、美術品を「切り、継ぐ」ことで伝えてきた日本人ならではの美意識を取り上げます。併設する広大な庭園は茶人でもあった根津氏の意向を反映し、地形を活かし自然に近い状態を保ちながら、まさに「市中の山荘」を体現しています。6月後半には七夕にちなんで短冊に願いを書くイベントも予定しています。

バス 133 / 119「青南小学校」徒歩2分
10:00～17:00(最終入館16:30) 火曜日・展示替期間・年末年始
※展示替期間は全館閉館いたしますのでご注意ください
詳細はホームページをご覧ください
<http://www.nezu-muse.or.jp/>



サントリー美術館

ちいばすのバス停「六本木七丁目」もしくは「榎町公園」を降りてすぐの、ミッドタウン・ガリアエリア3階に、サントリー美術館があります。館内は広々としているため、人が多すぎて混雑したり、長時間並ぶことなく鑑賞を楽しめます。また、木や和紙などを巧みに用いた館内は、和の素材ならではの自然のぬくもりが感じられ、あたたか、やわらかな空間が広がっています。お買い物のついででも、気軽に立ち寄ることができる環境です。毎週土曜日には、1階レクチャールームで、スタッフの方が、展覧会の内容や作品について簡単に分かりやすく説明してくれる「フレンドリートーク」を開催しています。鑑賞をより深く楽しみたい方におススメです。6月11日(水)から7月21日(月・祝)までは、「徒然草ー美術で楽しむ古典文学」を開催中です。ちいばすでお近くにいらつりつた際には、立ち寄ってみてください。

バス 36「六本木七丁目」徒歩1分 / 52「榎町公園」徒歩1分
10:00～18:00(金・土及び7/20は～20:00) 火曜日
※その他休館日についてはホームページをご覧ください
<http://suntory.jp/SMA/>

妙厳寺 豊川稲荷

江戸時代に活躍した大岡越前守忠相公、縁のお寺。正確には「妙厳寺豊川稲荷東京別院」ですが、一般には「赤坂豊川稲荷」で親しまれています。赤坂という土地柄、芸能関係者のお参りが多いことで有名です。「融通稲荷」では、「融通金」という開運招福・金銀財宝のお守りがいただけます(ほんとうにお金が入っています!)。もちろんご利益があったらお参りをします。一巡りでお参りできる「七福神」など、ゆるりと愉しめるちいばすスポットです。

バス 43 / 125-2「豊川稲荷前」下車すぐ
※その他詳細についてはホームページをご覧ください
<http://www.toyokawainari-tokyo.jp/index.html>



奥の院へ向かう参道。家内安全・商売繁盛などの願いを込めたのぼりが並びます。

歴史 散歩 勝海舟の終焉の地

「これでおしまい」風呂上がり、ブランデーを飲んだあと、77歳で眠るように亡くなった勝海舟の最後の言葉です。勝海舟の終焉の地は赤坂氷川町四番地、2500坪の屋敷で、その跡地に現在は、特別養護老人ホーム、サンサン赤坂と子ども中高生プラザがあります。イチヨウの大木が残り、展示コーナーの茶碗などに往時の勝海舟の生活が偲べれます。ここに27年間住み、「氷川清話」ほか「勝海舟全集」24巻で読める多くの著作を残しました。海軍の基礎を築き、西郷隆盛を説いて江戸城無血開城を実現、明治の新生日本の誕生に生涯を尽くしました。本所生まれの勝海舟は、父小吉(青山墓地に眠る)の縁で島田虎之助に直心影流と禅を学び、さらに兵学を学ぶためにオランダ語(蘭学)を習得しようと赤坂溜池の永井青崖の許に通いました。難局にあたり、身命を捨ててかかる勇氣と胆力と世界を見る目が育まれました。新婚の23歳のとき赤坂田町の借家に転居、2度目の転居先・本氷川坂下(氷川神社裏)で幕府崩壊までの10年を過ごし、この間に、威臨丸で艦長として太平洋を往復、坂本龍馬が刺殺に来たのにすぐ心服して海舟に弟子入りしたのがこの地です。

「これでおしまい」風呂上がり、ブランデーを飲んだあと、77歳で眠るように亡くなった勝海舟の最後の言葉です。勝海舟の終焉の地は赤坂氷川町四番地、2500坪の屋敷で、その跡地に現在は、特別養護老人ホーム、サンサン赤坂と子ども中高生プラザがあります。イチヨウの大木が残り、展示コーナーの茶碗などに往時の勝海舟の生活が偲べれます。ここに27年間住み、「氷川清話」ほか「勝海舟全集」24巻で読める多くの著作を残しました。海軍の基礎を築き、西郷隆盛を説いて江戸城無血開城を実現、明治の新生日本の誕生に生涯を尽くしました。本所生まれの勝海舟は、父小吉(青山墓地に眠る)の縁で島田虎之助に直心影流と禅を学び、さらに兵学を学ぶためにオランダ語(蘭学)を習得しようと赤坂溜池の永井青崖の許に通いました。難局にあたり、身命を捨ててかかる勇氣と胆力と世界を見る目が育まれました。新婚の23歳のとき赤坂田町の借家に転居、2度目の転居先・本氷川坂下(氷川神社裏)で幕府崩壊までの10年を過ごし、この間に、威臨丸で艦長として太平洋を往復、坂本龍馬が刺殺に来たのにすぐ心服して海舟に弟子入りしたのがこの地です。

公園は、ミッドタウン・ガーデンと一体となり、オフィスや住宅街の憩いの場となつて、都市空間を形成しています。池の傍らに和風の休息所が設置されるなど、かつて毛利家の下屋敷があったことを思い起こさせるデザインを醸し出しています。いまや東京の新しい観光スポットとして賑わっていますが、この場所は、平成14年の発掘調査では古墳時代や縄文時代の集落跡のほか、3万年前の旧石器時代の石器が出土しています。また、明治維新以降は軍用地として兵舎が立ち並び、太平洋戦争後は連合軍が、さらには防衛庁が置かれ、重いイメージのあったこの場所を、歴史を継承しつつ、東京ミッドタウンの建設は明るく楽しい街へと変身させてきました。

防衛庁跡地再開発として東京ミッドタウンへ

旧防衛庁跡地と榎町公園を加えた、約10万㎡の土地に、地下5階地上54階建て高さ248mのミッドタウン・タワーを中心に計6棟が建設されています。

家族連れで賑わう公園

ミッドタウン・ガーデン内のあちこちにあるアート作品に合わせたように、ブランコ、滑り台などの遊具も新しいデザインが施されています。

ちいばすって何?

ちいばすは、平成16年10月に田町ルート、赤坂ルートの2路線の運行を開始し、平成19年4月に車庫発着便(車庫～田町駅東口)の運行を開始しました。平成24年4月から新たに芝・麻布・青山・高輪・芝浦港南の5路線の運行が始まりました。ちいばすの愛称は、区民からの公募により決定したもので、小さいバス、地域に愛されるバスという意味が込められています。

ちいばすのルートについては、利用者アンケートの調査結果などを踏まえ、東京都交通、国土交通省、警視庁などの関係機関で構成されている港区地域公共交通会議で、運行ルート、採算性、安全性などを考慮し、決定しています。

通常ちいばすの停留所は、道路の歩道上に設置しますが、今年4月に新設された赤坂ルート「溜池山王駅」(40-2)は、周辺に十分な幅員の歩道がなく、民間建築の空地を借りて設置しています。東京メトロ溜池山王駅のエレベータに近く、足の不自由な方や、乳児・幼児をお連れの方にも乗り換えしやすくなっています。

